



©NORICO/Orentano

オレンターノPRESS



MOVE YOUR HEART!



2023 ユニフォーム

CONTENTS

INTERVIEW 代表取締役社長 小松 裕志 監督 上野 優作

FC GIFU TOP TEAM PLAYERS

J3新規参戦チーム紹介

新加入選手紹介

GGG(トリプルジー)6期メンバー



FRONT



BACK

目指すチームづくり 観て判断するサッカーで 右肩上がりの成長を!!

監督 上野 優作



それらをもうちょっと細かく、段階的にご説明しますと、プレシーズン段階では自分たちで**ボールを動かせるようにするために基礎からいろいろな能力を上げていこう**と考え、チームが開始したその日から、ボールをグループで保持することを中心に練習をおこないました。

宮崎キャンプに出席するまでの2週間でまずポゼッションに取り組み、ポゼッションが出来たら今度は方向性をグッと前に向けたトレーニングへと移行しました。ボールを保持したあとにタテパスが入らないとに進まないで、タテを意識してタテパスを入れる。そこにどれだけ前向きな選手が関わられてどれだけ相手を裏返し出来るかという段階まで、今年初の対外試合となった関西大学との練習試合をする前までに進んでいました。

毎日、ポゼッションと相手ゴール方向へ向かうダイレクトプレーと呼ばれるものに取り組みました。どのように相手の最終

最初はボールを保持する感覚そのものを養うために、立ち位置をあまり意識しないポゼッションから練習を始めましたが、2週目からは今流行りの言葉で言えばポジショナルプレー、ポジションをとるようなポゼッションをやったので、だいぶシステム対システムに近くなり、実戦のような想定で練習が出来ていたと思います。**最初の練習試合である程度のかたちが見えたのは、**そこまで練習が進んでいたからだと思います。

一通りやるべきことを終え、キャンプに入ってから複数回の練習試合を通して攻撃も守備も

(取材日...2023年1月24日)

ビジョンと哲学 クラブが岐阜の人々のための 潤滑油となるために!!

代表取締役社長 小松 裕志



皆 誠にありがとうございます。代表取締役の小松裕志です。今回はこの「オレンターノPRESS」の紙面をお借りして、FC岐阜というクラブや私が何を目指し、どう動いているか、その一端を改めてお伝え出来ればと思います。

さて、昨年(2022年)はクラブ全体でフィロソフィーを見つめ直し「**岐阜で一番愛される集団になる**」というように目標を集約しました。これは何かというと、FC岐阜はプロサッカークラブではありませんけれども、サッカーに留まらずあらゆる場所で岐阜県のために働ける、そんな**潤滑油のような集団**になっていくべきだということです。

時代の流れでかつて流行っていたものが廃れたり、人口も減り、いろいろな歪みが出ている。そこで求められる地域振興に対しても、我々が自治体と一緒に取り組むことで岐阜県を盛り上げていくことが出来るのではないかと思っています。

我々FC岐阜が応援してただけのように強い組織になっていけばインパクトがあるものを発信でき、県内で価値のある存在になれる。練習環境等々で日頃お世話になっている行政におんぶに抱っこというのではなく、自立して我々という存在**自身が皆様に必要としてもらえるクラブにならないといけない**。プロサッカークラブではありませんけれども、その立場ゆえに行き出来る影響力をいろいろなところで波及させていかなければいけないと思っています。

想 定される具体的なケースとしては、例えば行政がSDGsやカーボンニュートラルの活動をしないといけないけれども、人を集めたりイベントをするのが難しいといったときに、催事の運営能力とそこに登壇する人材を持つFC岐阜をうまく活用していただけたら人も来るし、より影響力が出ると思います。**困ったときには我々を**

使ってください、と言える存在でありたいです。サッカーの事業をしていますけれども、サッカー以前に我々がどういう心意気で岐阜県での仕事に取り組んでいるのが重要です。根幹にはクラブのフィロソフィーがある。我々はクラブとして一番愛される集団をめざすんだ、我々はこういう気持ちで動くんだということを発表して、サッカーについてはそこからの話だと思います。

フィロソフィーが出来ると、そこから導き出されるものとして、岐阜の風土を採り入れながら構築されたスタイルが出来上がる。選手についてもただ活躍すればいいというものではなく、FC岐阜のエンブレムに対する忠誠がないといけないと思っています。岐阜県の皆様に愛されるためにはスコアに関係なく常に、必死に関わなければならないし、ピッチ外でもFC岐阜の一員にふさわしい振る舞いをしないとけません。

2023シーズンは引き続き結果、つまり**J2昇格にこだわっていききたい**と思いますけれども、加えて応援して下さる**皆様の心を動かすサッカー**を、上野優作監督以下の体制で追求していきたくとも考えています。

スローガンは**MOVE YOUR HEART!**にいたしました。チームとして躍動感のあるフットボールを展開し、アグレッシブにゴールを目指すとこのコンセプトのもとチーム全員が岐阜の誇りを胸に全てを出し尽くして闘い、そしてFC岐阜に関わるすべての皆様の心を動かすような、そんなサッカースタイルを確立していきたくという想いが込められています。

そ のために、結果として多くの若い選手がチームに加入しました。理由として、継続してチームとして成長していくためには、若い選手の成長が不可欠であるからです。昨年から私どもは第三者機関にお願いして毎試合、細分化されたデータをトラックしています。そしてその数値

(取材日...2023年1月16日)

ラインを破っていく(ブレイク)かというところは、関西大学戦を迎える週の1月24日にミーティングをしています。最終ラインをブレイクしていくことに関してはその前の週末の紅白戦ではあまりうまくいかなかったので、選手には映像を見せて「**ボールを持つところは出来たけど、最終ラインを崩せなかったよね**」という話を、修正を施しました。

ですから関西大学戦を迎える前までに、自陣でボールを保持し、そのボールを運び、フィニッシュワーク(ラストパス、シュート)に至るまで、攻撃に関しては一通りやって大枠をカバーしたということになります。

始 動からキャンプまでの間に個人のところではまず、観る、つまり周囲を把握しておくこと、味方の位置と相手の位置とスペースがどうなっているのかを把握しようということの意識を強めました。最初は自分の周囲、一人二人三人目くらいの関わりからその把握に関するトレーニングを始め、始動翌週の2週目に入ったところで、相手のフィールドプレーヤー10人が最終ライン、中盤のライン、前線のラインでどうなっている、相手のどこにスペースがあるのかという話をしました。ですので、関西大学戦ではポジショニングもしっかりと行うプレーを、皆様にもご覧いただけたと思います。

ボール支配も、あらゆる要素をチェックしてきました。

理 想としては**全部の試合で自分たちがボールを持ちたい**のですが、相手が強い場合は相対的に守備の時間が長くなります。そういう状況に置かれた試合では守備をしないと勝点を持ってこれなくなりますが、守備のシミュレーションを想定して試合に取り組みました。逆に我々が主導権を握ってボールを支配出来れば、それを我々の強みとして点を獲って勝っていく試合を心がけました。

J3の中でもっともボールを握れて毎回圧倒出来れば一番いい。開幕して以降はそこを目指しますが、やってみて「これは相手に上回られたな」となれば、しっかり守備をして、守備から攻撃のカウンターを利用して点を獲ってほしいと思っています。

開 幕ももちろん大事ですけど、**シーズンを通して右肩上がりに成長**していこうという話を選手にしているので、**リーグ戦が始まってからも日々成長**していきたくと思っています。

どうして私がこういうサッカーを選んでるかと言ったら、**選手が一番成長出来るサッカーだ**と思うからなんです。やっぱり相手をしっかりと見て、判断して、頭を使って自分主体でプレーすると、一人ひとりのサッカーを知る力、インテリジェンスが上がっていくと思います。それがグループになってチームになって、さらなる成長につながっていくという、**そういうプロセスを経て、右肩上がり**でやっていきたい。最後、どういふ集団になるかはまだ想像出来ないうですけど、みんなのサッカー理解が深まって、その集団が勝つための手段みたいなものを手にしたら、いいチームになるんじゃないかなと思ってチームづくりをしています。

(取材日...2023年1月24日)

2023 SEASON

J3 新規参戦チーム紹介

2023シーズン、J3に新たに加わった4チーム

2022 SEASON J2 21位

FC琉球

ホームスタジアム:
タピック県総合ひやごんスタジアム
監督 倉貫一毅 / 沖縄県

とうとうJ3に降格してしまったFC琉球。しかし倉貫一毅前ヘッドコーチが新監督として指揮を執る2023シーズンのチームは非常に魅力的な存在となりそう。静岡学園高校出身のテクニシャンで大木武監督時代のヴァンフォーレ甲府でもプレーした倉貫監督の経歴から想像されるとおり、新しい琉球は4-4-2を基調としたフォーメーションで果敢に前からプレッシャーをかけ、ボールを奪ってはしっかりパスをつないでゴールを目指す、娯楽性を伴う攻撃サッカーを展開している。前線に身体を張ってボールを保持することが出来る野田隆之介は非常に頼もしく、清武弘嗣の弟である清武功暉はさすがの技術力と得点力を誇る。ここにコンディションさえよければ阿部拓馬も加わってくるわけだから、前線の実力はJ3でも上位に位置するはずだ。最終ラインに目を移しても元名古屋グランパスの牟田雄祐や元FC岐阜の福村貴幸など、東海地方でも馴染みの名前が並ぶほか、大卒新人のセンターバック山内舟征といった有望株もいて充実した戦力になっている。難があるとするれば沖縄県をホームとしているため、遠征がすべて飛行機による大旅行になってしまうことだが、これは以前にも経験していること。そのハンデを乗り越えて2018シーズンに金鐘成監督(当時)のもとJ2昇格を成し遂げたのだから、今回も昇格候補になると考えていい。戦国J3を象徴する好チームの一翼にふさわしいような配色が漂っている。

2022 SEASON JFL 1位

奈良クラブ

ホームスタジアム:
ロートフィールド奈良
監督 フリアン・マリノ・バサロ / 奈良県

濱田満社長のもと体制を一新して以降は現場もクラブも着実に内実を積み上げてきた。ピッチ内に関して言えば2021シーズンから数えて3季目となるフリアン・マリノ・バサロ監督体制でスペイン流のポジションを浸透させてきただけに、モダンフットボールを追求している上野優作監督率いるFC岐阜にとってもサッカーの内容面でライバルとなる存在かもしれない。特に、奈良県生駒郡三郷町にオープンした新拠点「ナラディーア」で練習が出来るといった環境面が強みで、監督や選手や戦術という以前にこの点がどう効いてくるかが見ものだ。2面のサッカーコートと1面のフットサル場のほか、真新しいクラブハウスは羨ましいかぎり、今後持続的に発展するためのベースとなるだろう。戦力面に目を移すと都並優太(都並敏史の子息で東京ヴェルディアカデミー出身)、金子昌広(元ヴァンフォーレ甲府)、可児壮隆(元川崎フロンターレ)、浅川隼人(前アソシエイト熊本、2022シーズンJFL得点王)など充実した既存戦力の上にSC相模原から元岐阜の中島賢星を獲得したほか、岡田慎司(前FC今治)、鈴木大誠(前徳島ヴォルティス)、西田恵(前ツエーゲン金沢)、堀内颯人(前Honda FC)、酒井達磨(前FCマルヤス岡崎)を獲得するなど補強に余念がなく、穴の少ない編成となっている。クラブとしてもチームとしてもこれといった欠点が見当たらないだけに、台風の目となる可能性もある。

2022 SEASON J2 22位

いわてグルージャ盛岡

ホームスタジアム:
いわぎんスタジアム
監督 松原良香 / 岩手県

2022年の降格決定時に指揮を執っていた秋田豊前監督が代表取締役オーナー兼代表取締役社長に就任するというサプライズ人事で幕を開けたいわてグルージャ盛岡の新体制。現在、秋田社長はクラブの顔として精神的に動いているようで、ピッチ上の指揮は松原良香監督に託された。現役時代はアトランタ五輪代表の一員でもあったことで知られ、数カ国を渡り歩き10年以上に渡る現役生活を送った。多くの海外経験からスペイン語と英語に通じ、指導者に転向して以後に筑波大学大学院で学ばないでインテリジェンスの面でも人の興味を引く存在であり、プロ監督としての実績は少ないが、可能性を秘めた魅力的な人材であると言えるだろう。2023シーズンからSC相模原の指揮を執る戸田和幸監督やFC岐阜の上野優作監督同様、新世代指導者の一角を占める位置にいる。この松原監督のもとで闘う選手たちも話題性に富んでいる。元ジェフユナイテッド千葉の水野晃樹は昨年、神奈川県社会人リーグ1部のはやぶさイレブンを開東社会人リーグ2部昇格に導き、その実績を引っ提げて県リーグからJに復帰するという離れ業を成し遂げた。このほかにも大宮アルディージャから田代真一、期限付き移籍ではあるが北海道コンサドーレ札幌からドウグラス・オリヴェイラを獲得するなど、スーパリーグでの暴露ぶりも印象的。話題先行の感がなくもないが、中村充孝や甲斐健太郎と契約を更新するなど要所は抑えて、やはり侮れない強敵となりそう。

2022 SEASON JFL 2位

FC大阪

ホームスタジアム:
東大阪市花園ラグビー場
監督 志垣良 / 大阪府

最終的に奈良クラブ、FC大阪、Honda FC三つ巴の優勝争いとなった2022シーズンのJFLで大阪は1位の奈良と僅差の2位に入りJ3加盟を決めた。フォーメーションは4-1-3-2のアンカーシステムで、アンカーには禹皓皓(ウ・サンホ)が起用され、2トップの一角を清本拓己が担うなどFC岐阜色の濃いメンバー。トップ下を採用し、阪南大学経由で加入してきたアビスパ福岡アカデミー出身の町田蘭次郎を置くなど初期配置の時点で攻撃的な印象があり、実際、つなぐというよりはどんどん前にボールを入れてくる傾向があった。右サイドハーフの久保史斗が積極的に仕掛けてくるあたりは岐阜の窪田稜、藤枝MYFCの久保藤次郎のプレーに近いかもしれない。目立つ新戦力はヴァンラーレ八戸から加入のゴールキーパー服部一輝、フォワードの島田拓海くらいのものだが、既存の戦力が充実しているのでまさにピンポイントの補強といった程度で計算が立っているのだろう。塚原真也監督が退任して強化部に入り、志垣良監督が就任したことでどのくらい戦い方が変わるのか、八戸色が濃くなるのかは未知数だが、JFLを勝ち抜いてきた勢いを持つすれば昨年のいわきFCのように上位進出もあるかもしれない。基本的なチームづくりが済んでいる状態で勝ち癖もついている大阪は岐阜にとってやりにくい相手。ボールを回す岐阜の最終ラインにハイプレスをかけてくるのが予想されるが負けず頭を使いながら闘いたい。

J3 NEWCOMER TEAMS

2023 SEASON

FC GIFU TOP TEAM PLAYERS

<p>Yusaku UENO NEW</p> <p>上野 優作</p> <p>1973.11.1 栃木県</p> <p>監督</p>	<p>Shu MOGI NEW</p> <p>茂木 秀</p> <p>1999.1.15 195cm/90kg FC今治 神奈川県</p> <p>1 GK</p>	<p>Shotaro HAYASHI NEW</p> <p>林 祥太郎</p> <p>2000.10.11 184cm/72kg アフラブリック秋田 大阪府</p> <p>20 GK</p>	<p>Takuya MATSUMOTO</p> <p>松本 拓也</p> <p>1989.2.6 184cm/80kg アフラブリック秋田 静岡県</p> <p>21 GK</p>	<p>ONO Chohwan</p> <p>大野 哲煥</p> <p>1993.10.25 186cm/82kg 栃木SC 鳥取県</p> <p>31 GK</p>
<p>Takumi FUJITANI</p> <p>藤谷 匠</p> <p>1995.12.6 184cm/73kg 神戸学院大学 兵庫県</p> <p>17 DF</p>	<p>Kodai HAGINO NEW</p> <p>萩野 滉大</p> <p>2000.6.20 177cm/70kg 法政大学 愛知県</p> <p>23 DF</p>	<p>Yuki WADA NEW</p> <p>和田 侑樹</p> <p>2000.10.21 178cm/75kg 東海学園大学 三重県</p> <p>25 DF</p>	<p>Ipppei HADA NEW</p> <p>羽田 一平</p> <p>2000.12.15 176cm/73kg 桐蔭横浜大学 岐阜県</p> <p>26 DF</p>	<p>Genichi ENDO NEW</p> <p>遠藤 元一</p> <p>1994.9.9 178cm/74kg カマタマーレ讃岐 北海道</p> <p>39 DF</p>
<p>Stevia Egbus MIKUNI</p> <p>三浦 スティビアニス</p> <p>1998.5.31 182cm/73kg 水戸ホーリーホック 東京都</p> <p>41 DF</p>	<p>Tomoya UGAJIN</p> <p>宇賀神 友弥</p> <p>1988.3.23 172cm/71kg 浦和レッズ 埼玉県</p> <p>3 MF</p>	<p>Ryoma KITA NEW</p> <p>北 龍磨</p> <p>1998.4.16 172cm/68kg アスルクラロ沼津 京都府</p> <p>6 MF</p>	<p>Ryo KUBOTA</p> <p>窪田 稜</p> <p>2001.1.5 171cm/68kg ツエーゲン金沢 千葉県</p> <p>8 MF</p>	<p>Yoshihiro SHOJI</p> <p>庄司 悦大</p> <p>1989.9.14 170cm/70kg 京都サンガF.C. 静岡県</p> <p>10 MF</p>
<p>Yoshiatsu OJII</p> <p>生地 慶充</p> <p>1998.4.2 177cm/73kg 筑波大学 東京都</p> <p>14 MF</p>	<p>Kazune KUBOTA NEW</p> <p>久保田 和音</p> <p>1997.1.1 170cm/62kg サスノックサツ群馬 愛知県</p> <p>16 MF</p>	<p>Ayumu MATSUMOTO</p> <p>松本 歩夢</p> <p>1998.4.28 170cm/68kg 関西大学 大阪府</p> <p>19 MF</p>	<p>Akira YAMAUCHI</p> <p>山内 彰</p> <p>2000.3.10 170cm/65kg 東海学園大学 大阪府</p> <p>32 MF</p>	<p>Ryota ISHIZAKA</p> <p>石坂 亮人</p> <p>2003.10.25 172cm/65kg 福井ユナイテッドFC 愛知県</p> <p>33 MF</p>
<p>Ryu KAWAKAMI NEW</p> <p>川上 竜</p> <p>1994.10.25 177cm/73kg SC相模原 福岡県</p> <p>40 MF</p>	<p>Yosuke KASHIWAGI</p> <p>柏木 陽介</p> <p>1987.12.15 176cm/73kg 浦和レッズ 兵庫県</p> <p>42 MF</p>	<p>Toma MURATA</p> <p>村田 透馬</p> <p>2007.2.22 173cm/64kg 興國高校 大阪府</p> <p>7 FW</p>	<p>Hirofumi YAMAUCHI</p> <p>山内 寛史</p> <p>1995.2.9 182cm/76kg モンテディオ山形 埼玉県</p> <p>9 FW</p>	<p>Kosuke FUJIOKA</p> <p>藤岡 浩介</p> <p>1994.8.13 174cm/74kg テゲバジャーロ宮崎 山口県</p> <p>11 FW</p>
<p>Kensei UKITA NEW</p> <p>浮田 健誠</p> <p>1997.6.12 185cm/78kg SC相模原 千葉県</p> <p>15 FW</p>	<p>Junya TANAKA</p> <p>田中 順也</p> <p>1987.7.15 181cm/77kg ウィッセル神戸 東京都</p> <p>18 FW</p>	<p>Akito UENO NEW</p> <p>上野 輝人</p> <p>2000.9.14 175cm/72kg 大阪経済大学 兵庫県</p> <p>24 FW</p>	<p>Tomoya YOKOYAMA NEW</p> <p>横山 智也</p> <p>2000.9.1 175cm/63kg 岐阜協立大学 岐阜県</p> <p>27 FW</p>	<p>Tsubasa KUSUMOTO NEW</p> <p>楠本 羽翼</p> <p>2000.12.17 174cm/74kg 東海学園大学 三重県</p> <p>28 FW</p>
<p>Charles NDUKA</p> <p>ンダカ チャールズ</p> <p>1998.8.8 183cm/82kg Y.S.C.C.横浜 埼玉県</p> <p>45 FW</p>	<p>Yuya TAGUCHI NEW</p> <p>田口 裕也</p> <p>2001.4.8 180cm/73kg ガイナレ鳥取 三重県</p> <p>48 FW</p>	<p>GIFFY</p> <p>ギッフィー</p> <p>誕生日: 8月21日 出身地: 岐阜県</p> <p>FC岐阜公式 マスコット キャラクター</p> 	<p>① 生年月日 ② 身長/体重 ③ 前所属 ④ 出身地</p>	



新加入選手紹介

2023シーズン新たに加入した選手に
オレンターノPRESSが独占取材!!

質問

- ①自分の武器は何ですか?
- ②気になるチームメイトは誰ですか?
その理由をお聞かせください。
- ③勝負メシや試合前のルーティーンがあれば教えてください。



- ①スピード・フィジカル
- ②ンドカ チャールズ選手：
フィジカルの秘訣を教えてください
- ③前日は家でゆっくり、
ぬくぬくする

24 FW
上野 輝人
Akito UENO



- ①ヒルドアップ、フィード、
ゴール前の守備
- ②羽田 一平選手：
小学生の時から知っているから
- ③ヨガをすること

23 DF
萩野 滉大
Kodai HAGINO



- ①1対1の対応・スピード・ジャンプ力
- ②茂木 秀選手：
4年ぶりに一緒にプレーするの
どのようになっているのか
- ③瞑想

20 GK
林 祥太郎
Shotaro HAYASHI



- ①攻撃のリズムを作る
- ②エブス選手：なんとなく
- ③犬の散歩

16 MF
久保田 和音
Kazune KUBOTA



- ①ダイナミックなプレーと
左足でのシュート
- ②三國ステイビアエブス選手：
大学から仲の良かった先輩
- ③のんびり試合までの時間を
過ごす

15 FW
浮田 健誠
Kensei UKITA



- ①長短のパス
- ②松本 歩夢選手：
優しくて良い人だから
- ③WANIMAの「ともに」を聴く

6 MF
北 龍磨
Ryoma KITA



- ①身長を活かしたビルドアップ
- ②柏木 陽介選手：
プレーがすごいから
- ③カツカレー

1 GK
茂木 秀
Shu MOGI



- ①裏への抜け出し
ゴール前でのプレー
- ②窪田 穂選手：家が近所で
運転させられているから。
(やさしいから。かっこいい...)
- ③いい睡眠を取ること!

40 MF
川上 竜
Ryu KAWAKAMI



- ①献身的なプレー
- ②遠藤 元一選手：熱い
- ③なし

- ①熱く激しく戦う
- ②川上 竜選手：
ストイック
- ③前日の夜は魚を食べる

39 DF
遠藤 元一
Genichi ENDO



- ①走力・アップダウン
・とにかく走るところ
- ②和田 侑樹選手：
顔がめっちゃめっちゃこいいから
- ③どら焼きを食べる

28 FW
楠本 羽翼
Tsubasa KUSUMOTO



- ①細かいボールタッチ・ドリブル
- ②羽田 一平選手：
同じ岐阜出身でライバル的存在
- ③豚肉を食べる/
レッドブルを飲む

27 FW
横山 智也
Tomoya YOKOYAMA



- ①チームがきつい時に鼓舞する声!
前への推進力!
ゴールへ導くクロスボール
- ②松本 歩夢選手：
二人組のペアで優すぎるからです
- ③勝負メシは特になし
左足の靴から紐を結ぶ

26 DF
羽田 一平
Ippei HADA



- ①左足のフィードが武器なので
縦パスやロングフィードに
注目して下さい。
- ②楠本 羽翼選手：
学生時代からのライバル
- ③羊羹を食べる

25 DF
和田 侑樹
Yuki WADA

読者プレゼント! 新加入選手全員のサインが入った色紙を3名様にプレゼント!!

※応募方法はウラ面をご確認ください。



AIRA

NEW RUI

NEW ARISA

COCONA

LALA

SAYAKA

NEW SHION

NAO

WAKANA

SEINA

今シーズンも一年間よろしくお
願いします!!ホーム戦もアウェイ
戦も皆さんにとって素敵な、そし
て充実した日になるよう精一杯
盛り上げます!!今年こそはJ2昇
格できるよう一緒にFC岐阜を
後押ししましょう!!

今年からGGGとして活動さ
せていただくことになりました。
私たちのパフォーマンスで
皆さんを最大限に盛り上げ、
チームを勝利に導けるよう一
緒に戦っていきましょう!!
よろしくお願いいたします。

今シーズンもGGGとしてFC岐
阜を応援させていただくことにな
りました!スタジアムを盛り上げ
られるよう頑張るので、みんな
も一緒に全線応援しましょう!!
J2昇格するぞ!

GGG 4年目!!今年もサポ
ーターの皆さんとFC岐阜を盛り
上げます。沢山の笑顔をお届け
ます。感動をお届けます。一緒
に、J3優勝、J2昇格を目指
して応援しましょう!今年も1
年間よろしくお祈いします!

今シーズンもGGGとしてFC
岐阜を応援できることが本当に
嬉しいです!3年目なので、今よ
りもっと成長した姿を見せられ
るように頑張ります!今シーズ
ンもよろしくお祈いします!!

今シーズンからGGGとして
活動させていただくことになり
ました!RUIです!サポーター
の皆さんと共に全力でFC岐
阜を盛り上げます!!1年間宜
しくお祈い致します!

LALAです!活動させ
て頂けることに感謝し、
今年も沢山の笑顔と元
気をお届けします!今年
こそJ2昇格!

今シーズンもGGGとして皆さん
と一緒にFC岐阜を応援出来る
ことが嬉しいです!よりたくさん
の方に愛されるパフォーマンス
チームを目指して、5年目も感謝
の気持ちを忘れずに精一杯頑張
ります!!よろしくお祈いします。

今シーズンからGGGとして活動
させていただくことになりました!
新メンバーのSHIONで
す!皆さんと一緒にFC岐阜を
精一杯盛り上げて行くので応援
よろしくお願いします!

今年もGGGの一員として活動させ
ていただきます!去年は新メンバー
として不安が多
く大変だったけど、今年6期の新メン
バーを支え、レベルアップした私を見
せたいと思います!また、もっと私
のことを知ってもらえる
ように皆さんと沢山お話しして頑
張ります!!今年も皆さんとFC岐
阜を応援することができて嬉し
いです!!一緒に全線応援し
ましょうね!今年もよろしくお祈
いします!!

FC岐阜の全ホームゲームに出演し、
スタジアムを華やかに盛り上げます。
皆様のご来場をお待ちしています。

FC岐阜後援会 オレンターノ岐阜 会員募集中

2023

2023.2.1 - 2024.1.31

後援会からの
お知らせ

FC岐阜後援会は、
FC岐阜への支援を通じて、
俺んたの清流の国ぎふを元気にします。
【会費収入はFC岐阜の財政支援と後援会の活動費に充てられます】

Private (個人) 会員
年会費 1口 **5,000円**
(複数口可)

Corporate (法人) 会員
年会費 1口 **30,000円**
(複数口可)

会員特典

Private (個人) 会員 共通 Corporate (法人) 会員

- ◆ 会員証の発行
- ◆ 会報誌 オレンターノPRESS 発行 (郵送)
- ◆ ホームゲーム観戦チケット料金の割引
※当日券を前売券価格で購入できます ※小中高・学生は対象外となります
※他の割引との併用はできません ※一試合当たり2枚までとなります

Private (個人) 会員

- ◆ ホームゲーム観戦チケット 2枚/口
(メイン自由席)
※ご利用を制限させていただく場合がございます
- ◆ FC岐阜コラボグッズを進呈
※準備が整い次第お届けいたします

口座振替会員
複数口会員
限定

Corporate (法人) 会員

- ◆ ホームゲーム観戦チケット 5枚/口
(メイン自由席)
※ご利用を制限させていただく場合がございます
- ◆ FC岐阜公式ホームページへの社名掲載
- ◆ FC岐阜コラボグッズを進呈
※準備が整い次第お届けいたします

口座振替会員
複数口会員
限定

FC岐阜公式HPから
入会申込が出来ます

みんなの支援でFC岐阜は強くなる!!

©NORICO/Orentano

■ 後援会への入会・その他お問い合わせ先
FC岐阜後援会事務局
〒502-0817 岐阜市長良福光2070-7 長良川スポーツプラザ1F
TEL 058-233-2877 FAX 058-295-7866 e-mail:kouenkai@fc-gifu.com

■ 読者プレゼント(選手サイン色紙)の応募方法
郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、ハガキ・FAX、メールでご応募ください。
【応募締切】令和5年3月31日(金) 当日消印有効 ※当選発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※ご応募のため、ご記入いただきました個人情報はFC岐阜後援会が適切に管理し、本誌に関わる応募業務にのみ使用させていただきます。
その他の業務に転用することはありません。